

令和2年度 大井川の清流を守る研究協議会総会

1. 開催日 令和2年7月28日（火）午前10時00分～午前11時00分
2. 場所 島田市 大井神社 宮美殿
3. 内容

大井川流域5市2町（島田市・御前崎市・牧之原市・掛川市・菊川市・吉田町・川根本町）でつくる「大井川の清流を守る研究協議会」（会長・鈴木敏夫川根本町長）は28日、本年度の総会を島田市の大井神社 宮美殿にて開催。総会には各市町の首長及び議長、担当職員、来賓など併せて56人が出席しました。

総会では、令和元年度の事業報告及び収支決算、協議会新規加入について、役員の変更、令和2年度の事業計画（案）と収支予算（案）が審議され、いずれも原案のとおり承認されました。協議会新規加入としまして、焼津市・藤枝市・袋井市の3市が新たに加わり、大井川流域8市2町の構成による協議会となり、活動を展開することになりました。役員改選につきましては、会長に川根本町長、副会長に牧之原市長・島田市議会議長、監事に御前崎市長・吉田町議会議長様に引き続きご就任いただくことになりました。

本年度事業としては、住民を対象とした源流部等視察会や、小学校での環境教育出前講座の実施、大井川の環境問題等に関する現況確認調査、大井川フォーラム等の開催や海岸等清掃活動事業などを実施する予定です。

また、リニア中央新幹線南アルプストンネル建設における大井川の水量問題については静岡県が先頭となり、大井川水系の水資源の確保及び水質の保全等に関して、専門部会においてJR東海との対話を進めているところであります。当協議会におきましても、リニア中央新幹線建設に係る諸問題をはじめ、大井川流域の土砂堆積など、大井川の流況改善に関する活動を引き続き関係機関に対し行っていくこと、流域市町が一体となり情報を共有し連携を図っていくことが重要であると確認しました。



総会の様子



総会の様子